

栗原市立津久毛小学校閉校記念誌



ありがとう → 未来につなぐ栗原市閉校記念誌～

2014.03



## あいさつ

津久毛小学校の閉校に寄せて	栗原市長	佐藤 勇	1
津久毛小学校の閉校に寄せて	栗原市教育委員会教育長	亀井 芳光	2
心やさしく身もつよく、未来につなぐ「津久毛っ子」	栗原市立津久毛小学校校長	菅原 太	3
閉校のあいさつ	栗原市立津久毛小学校父母教師会会長	鈴木 成	4

## 校歌

わかば児童会のうた	5
津久毛小学校のあゆみ	7～9
児童数の推移	10
歴代校長	11
歴代父母教師会長	12

## 学校の概要

13～14

## 寄稿

銃後の守り	昭和20年卒業	鈴木 健平	15
小学校・地区民合同運動会は尊い絆づくりの基だった		小田島久男	15
小学校と思い出	昭和37年卒業	菅原 正雄	16
ありがとう津久毛小学校	昭和54年卒業	須藤 幸樹	17
思い出	昭和63年卒業	菅原 美枝	18
11年を振り返って	津久毛小学校教諭	白鳥 清文	18

## 寄せ書き

職員	19
第1学年	20
第2学年	21
第3・4学年	22
第5学年	23
第6学年	24

## 思い出のアルバム

25～40



## 津久毛小学校の閉校に寄せて

栗原市長 佐藤 勇

北に栗駒山、南に三迫川、そして周囲は見渡す限りの田園と空。自然豊かなこの津久毛の地で、子どもたちに多くの学びを与えてきました津久毛小学校が閉校するにあたり一言ごあいさつ申し上げます。

明治6年に岩崎小学校、大原木小学校として開校し、昭和2年に現在の場所に津久毛尋常高等小学校として開校されました。開校以来141年にわたる長い歴史をもつ津久毛小学校は、地域住民の方々の学校教育に対する御理解、御協力のもと、地域の温かな目に見守られ、健全な児童育成の伝統を築き上げてこられました。

恵まれた教育環境の中、学校及びPTAまた児童個人にわたり幅広い分野において多くの優良受賞をされており、多くの優れた人材を世に送り出し、県内外におきまして、広く御活躍されておりますことは、地域皆様の長年にわたる温かい御支援の賜であり、厚く御礼申し上げます。また、歴代の校長先生をはじめ、教職員、関係者の皆様の並々な御尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、長い歴史のある津久毛小学校では、開かれた学校を目指し、地域のオアシスとして地域の方々に開放され、運動会を地域と合同で実施することや、学習発表会にも参加していただくなど、地域と学校との確かな信頼関係を築いてこられました。その他にも祖父母ふれあい祭りや、田植え体験を通して、保護者のみならず地域の方々と積極的に交流する場を設けることで、地域を愛する教育にも力を入れ、広く思いやりや感謝、尊敬する心を育まれました。

このような教育環境のもと、保護者はもとより、地域の方々からの学校教育に対する関心も高く、「自分のめあてに向かって進んで歩む子のはぐくみ」を教育目標に、将来の夢や目標につなげるため、何事にも積極的にチャレンジし、自身の基盤となる「生きる力」が養われてきたところであります。

また、勉学のみならず、業前にはマラソンや縄跳びなど、心身ともに健全な児童の育成を目指して、積極的に取り組まれ、特に、平成3年度からの3年間には、文部科学省より「体力づくり推進校」としての指定を受けられ、「生き生きと体力づくりに取り組む子供の育成」という研究テーマのもと研究実践されました。そして、この研究成果を現在に至るまで日常の教育活動の中に取り入れ、継続して実践されてきましたことは、栗原市内や宮城県内の小学校の中でも、良き模範として挙げられるものであります。

このように歴史と伝統ある津久毛小学校が、今日の社会的な問題である少子・高齢化の傾向による児童の減少などの背景から、栗原市においても学校の再編が避けられず、本年3月31日をもって校史を閉じることとなりましたことは、非常に残念でなりません。これまで津久毛小学校を巣立った皆様にとって、母校の閉校は何事にも耐え難い寂しさであり、また、地域の皆様の愛惜の念も深いものがあると拝察いたします。しかし、ここで歴史が終わるのではなく、これからは次代へ津久毛の歴史と伝統が受け継がれていくよう願うものであります。

今後、「学府くりはら」の実現に向けて、教師と子どもたちがしっかりと向き合い、学校生活に満足感や達成感がこれまで以上に得られる教育環境づくりを目指すとともに、津久毛小学校が育んだ歴史が長く受け継がれ、新しい地域の歴史が築かれていくことを心から御祈念申し上げ、閉校記念誌発行のあいさつといたします。





## 津久毛小学校の閉校に寄せて

栗原市教育委員会  
教育長 亀井 芳光

平成26年4月、津久毛小学校は沢辺小学校・金成小学校・萩野小学校・萩野第二小学校と再編し、新生「金成小学校」として、金成中学校とあわせて栗原市で初めての小中一貫教育校として、現在の中学校敷地に建設された新校舎でスタートすることになりました。再編にあたり、ご理解とご協力をいただきました津久毛地区の皆様にご心より感謝申し上げます。

さて、津久毛小学校の歩みを振り返りますと、明治6年に岩崎の佐藤養安医の所有地に岩崎小学校が、金附に大原木小学校が創立されたことがその第一歩とされています。以来141年の長きにわたり、津久毛小学校は、地域の皆様と手を携え、子どもたちの教育に熱心に取り組んでまいりました。

津久毛小学校は、決して大きな学校ではありませんが、水泳など体育をはじめとする教育活動の活発さは驚嘆に値するものがありました。これまで津久毛小学校で学んだ子どもたちにとりましては、輝かしい成績はもとより、仲間とともに切磋琢磨した経験そのものが、生涯の財産になっていることと思います。

また、津久毛小学校は、PTA活動が盛んなことでも名をはせており、保護者の皆様がお忙しい中でも積極的に学校に関わってくださいましたことは、学校運営上、大変心強く、有り難いことでした。ことに、小学校と地区民の合同大運動会で、子どもたちのみならず、教職員と保護者、地域の皆様が、ともに校歌を歌う場面では、地域に根差す学校の姿の一端を見た思いで、胸が震えたことを記憶しています。

これまで慣れ親しんできた学校と別れることは、子どもたちをはじめ、地域の皆様にとりましては、計り知れない寂しさがあるものと思います。しかしながら、少子化による児童生徒数の著しい減少や急激に変化する時代に生きる子どもたちの将来を考えると、学校再編は避けて通ることはできません。

この度開校する金成地区小中一貫教育校では、「国際キャリア科」などの新設科目を導入し、義務教育の9年間をとおした特色ある教育を展開します。子どもたちには、津久毛小学校の校歌にありますように、「日出ずる国の民として われらの郷(さと)の人として 心やさしく身もつよく」、広い世界へ歩を踏み出してくれることを期待しますし、新しい仲間と進むその一步一步が、後に生まれくる子どもたちの道標となることを、ぜひこの機会に自覚してほしいと思います。

再編後は、子どもたちも地区の皆様もこれまで脈々と受け継がれてきた津久毛小学校の輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、新しい出会いを喜び、共に学び、励ましあいながら、新しい伝統を築き上げ、「地域とともに歩む 新しい学校」の創造に向けて取り組んでいってくれることを信じてやみません。その実現のためには、地域・家庭・学校・教育委員会ははじめ関係機関との連携が大切であります。新たに仲間となる沢辺小学校・金成小学校・萩野小学校・萩野第二小学校の子どもたち、保護者、地域の皆様との交流を深め、「再編してよかった」と語り継がれる新しい学校を創り上げていただきたいと願っております。

結びに、閉校にあたり、これまで永きにわたり津久毛小学校を温かく見守り、支えていただきました地域の皆様にご心より敬意と感謝を申し上げまして、閉校記念誌に寄せる言葉といたします。





## 心やさしく身もつよく、未来につなぐ「津久毛っ子」

栗原市立津久毛小学校

校長 菅原 太

明るく開放感にあふれた校舎、清い水を湛えたプール、広く整備された校庭と潇洒なあずまやを備えた庭園が地域の自慢となる津久毛小学校は、明治6年の学制発布とともに誕生しました。昭和2年に現在の地に津久毛尋常高等小学校として新築後、およそ60年を経た昭和63年、地域の皆様の幾度にわたる請願により新校舎が建設されました。しかしながら、校舎落成当時には110人を数えた児童数も平成25年4月には児童数が40人となり、平成26年3月をもって141年の歴史に幕を下ろすことになりました。

学校から北に1キロほど行った津久毛橋城跡からは、晴れ渡る空そして広々とした金成耕土が見渡せます。古くは、源頼朝と平泉の藤原泰衡の血戦の場となったともいわれ、江戸時代には俳聖芭蕉と曾良がここを通ったとされています。本校の昇降口に、学校にはおよそ似つかわしくない大きな扇が飾られています。これは、金成地区の伝統行事「小迫の延年」で行われる馬乗渡しの大的を、地域の方々が学校のためにとけんか祭りで獲得したものだそうです。

本校の沿革史を繙けば、本校を象徴する2つのことに出会います。1つは数多く実施された教育研究学校公開、もう1つは健康に関する取り組みです。この2つは、地域と保護者の協力を抜きにしては語れません。昭和31年の町村合併により金成町立津久毛小学校となって、昭和34年に全教科の研究指定を受け公開したことを皮切りに、39年には理科教育研究公開、42年に社会科教育研究公開と立て続けに研究公開を実施、45年には国語科教育研究公開と積極的に研究成果を県内各校に公開しています。この伝統が、平成3年から5年までの文部省指定「体力づくり推進校」の公開研究会へと引き継がれます。体力づくり推進の成果は、さっそく平成3年度栗原郡小学校水泳大会の男子・女子そして総合優勝の結果をもたらします。これ以降、津久毛小学校は栗原郡の小学校水泳大会や仙北青少年水泳大会優勝の常連校として、郡内はもとより全県に名をとどろかせることとなります。体力づくり推進の研究は健康面にも目が向けられ、平成3年11月宮城県学校歯科医師会より表彰を受けたほか宮城県PTA安全会から表彰されています。この間、地域と保護者は手づくり遊具施設の整備に地域を挙げて協力、体力づくりの活動を側面から支えることとなります。学校に対する地域によるバックアップは、伝統として脈々と引き継がれ今に至っています。さらに、長年の体力づくりに関する取り組みは、平成8年日本水泳連盟から学童水泳優秀校に選ばれたことをきっかけとして、宮城県代表健康推進学校表彰そして日本PTA全国協議会による津久毛小学校PTA表彰として結実することとなりました。

昨年の9月、2020年のオリンピック・パラリンピックの東京開催が決定しました。IOCの委員の一人は「日本の文化では欧米人のように前面に押し出るのは難しいが、人とのつながりを増やすことが国際舞台では必要」と言っています。56年ぶりの五輪はスポーツの力を磨く絶好の機会でもありますが、小学校の世代がグローバルな社会の到来を身をもって知る良い機会です。地域の力で培われた体力づくりの伝統が新しい小中学校で花開き、2020年に開催予定のオリンピックまでもが、彼らの活躍するフィールドとなることを期待したいと思います。

結びに、閉校にあたりましてご尽力を賜りました栗原市教育委員会並びに金成地区小学校再編準備委員会の皆様、津久毛小学校閉校記念事業実行委員会の皆様、関係各位に御礼と感謝を申し上げ、また、新生金成小中学校のますますの発展をご祈念申し上げ、閉校記念誌への言葉とさせていただきます。





## 閉校のあいさつ

栗原市立津久毛小学校

父母教師会会長 鈴木 成

栗駒山の雄大な自然を一望できる津久毛平野の真ん中で、長年にわたり子供たちの健やかな成長を見守り続けてきた津久毛小学校が、平成26年3月をもって141年の歴史に幕を閉じることとなりました。

私の母校でもある本校は、明治6年に開校して以来、在学した子供たちはもちろんのこと、たくさんの方々の心中で津久毛の象徴であり地域交流の拠点であったと思います。

学校生活においては、勉学の父であり、スポーツの母であり、創作の友であるかのように、いつも児童たちと苦楽を共にし、大事な人生の思い出を一緒になって作ってくれました。また、地域生活においても、大運動会や盆踊り大会、集行事などいろいろな場面で、ある時は活動の表舞台となり、また、ある時は憩いの裏舞台となり、津久毛の発展と融和のために尽くしてくれました。

私は縁あって、この閉校にあたる年の父母教師会会長という大役を務めさせていただき、閉校実行委員会にも携わってきましたが、そこで私は、今回の閉校のために尽力された実行委員、学校教員職員、父母教師会員、在学する児童、そして地域の皆様方の思いに色々な機会により深く触れることが出来ました。この記念誌の発刊をはじめ、閉校に関する事業の実施は、決して平坦な道のりではありませんでしたが、関わる全ての方々が「津久毛小学校のために。」と一つの目標に向う大輪となって取り組みました。

考えてみれば今年が閉校の年だからということではなく、それは今までもずっとそうであったと感じます。学校生活や地域生活の中で、先輩から後輩、または世代間で時代を繋ぐ「櫂の輪」、もう一つは同世代を生きるみんなを一つに繋ぐ「絆の輪」、この二つの輪の役目を津久毛小学校は開校以来、ずっと担ってくれました。これまでの本校の歴史を考えれば、小さい輪から大きい輪まで、本当にたくさんの輪があったと思います。また、その幾重もの積み重ねば津久毛小学校の年輪のようにも感じます。

このように親近な存在であった津久毛小学校の閉校は、関わりのあった誰しもにとって胸中、万感の至りとは思いますが、私自身はこれを「閉校」ではなく「転生」と捉えています。平成26年4月からは、金成地区内の5校が統合し一つの新しい小学校が誕生します。鉄筋とコンクリートで造られたものが学校ではありません。そこに集う児童生徒や先生、保護者や地域の方々のたくさんの笑顔と努力で創られて行くものです。必ずやそこには津久毛小学校から引き継がれた「津久毛っ子魂」が脈々と躍動し、更なる躍進と連帯を与えてくれると確信しています。

最後に、これまで津久毛小学校が開校以来141年間、全ての津久毛っ子ファミリーに感謝と敬意を表し、ここに綴った思いが単なる幕引きの言葉ではなく、これから始まる輝かしい未来への幕開けの宣言になることを切に願い、私からの挨拶といたします。





# 栗原市立津久毛小学校 校歌

秋山 邦雄 作詞  
松倉 久 作曲



そ ら ひ ろ く ー し て の は き よ く



す ー む に う れ し き わ が つ く も



さ く ら の し る し か が や き て



ま ー な ぶ わ れ ら の し ょ う が つ こ う

一、空広くして 野は清く

住むにうれしき わが津久毛

さくらのしるし 輝きて

学ぶ 我らの 小学校

二、栗駒山の 朝明けに

迫の川の 夕ぐれに

希望の空を 仰ぎつつ

学びの道に いそしまん

三、日いづる国の 民として

我らの郷の 人として

心やさしく 身も強く

教をうける うれしきよ

昭和二年十一月 制定



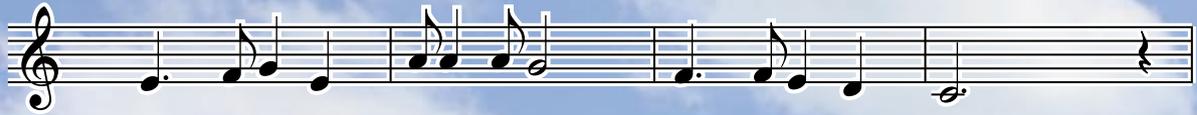


# わかば児童会のうた

作詞 / 作曲 昭和57年度卒業生  
補作 高橋かつみ  
鎌田 淳



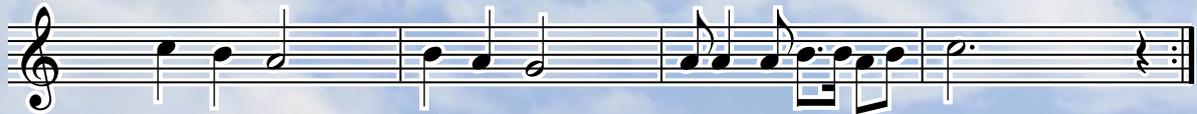
お ひさ ま にこ にこ わ らつ て る



な か よ く げん きに わ を つ く り



こ え を そろ えて う た お う よ



あ あ あ わ か ば わ か ば じ どう か い

一、おひさま にこにこ

わらってる

なかよくげんきに

わをつくり

こえをそろえて

うたおうよ

ああ わかば

わかばじどうかい

二、あおぞらきれいに

ひろがって

ことりのさえずり

きこえてる

みんなげんきに

あそぼうよ

ああ わかば

わかばじどうかい

平成26年3月閉校 心から感謝をこめて……

## ありがとう 津久毛小学校!!

津久毛小学校を敬愛する愛津会





年月日

沿革の概要

- 明治 6. 岩崎の佐藤養安医の所有地に岩崎小学校創立  
金附に大原木小学校創立
- 15. 岩崎小、岩崎初等小学校となる
- 16. 大原木小、岩崎初等小大原木分教場となる
- 17. 大原木分教場、大原木初等小学校となる
- 19. 岩崎初等小、金成中等小学校岩崎分教場となる
- 22. 岩崎分教場、津久毛尋常小学校として独立  
大原木初等小、大堤尋常小学校となる

- 大正 3. 大堤尋常小、津久毛尋常小学校大堤分教場となる

- 昭和 2.10.31 現在地に新校舎竣工、高等科認可、津久毛尋常高等小学校となる
- 11. 2 校歌制定 (作詞 秋山邦雄 作曲 松倉久)

- 16. 4. 1 津久毛国民学校と改称
- 22. 4. 1 津久毛村立津久毛小学校と改称
- 30. 1. 1 四ヶ町村合併により金成町立津久毛小学校と改称

- 33. 4.26 全教科研究校に指定 (昭和33・34年度)
- 34.10.16 指定研究公開
- 39.11. 6 理科教育公開研究会
- 41. 4. 社会科研究校に指定 (昭和41・42年度)
- 42. 9.29 社会科公開研究会
- 44. 4. 国語科教育研究校に指定 (昭和44・45年度)
- 45.10. 6 国語科研究公開

- 56. 8. 4 宮城県みどりの少年団結成加盟
- 60. 5.16 福祉教育普及校の指定 (3ヶ年間)
- 61. 7. 8 青少年赤十字加盟登録

- 62. 8. 7 郡小学校水泳大会 総合優勝
- 22 仙北青少年水泳大会 女子の部優勝
- 12.15 福祉教育普及校研究実践発表 (昭和60～62年度)

- 63. 3. 7 新校舎の入校式実施
- 4.21 学校みどりの日記念植樹式 (築館教育事務所指定)
- 6.12 新校舎落成記念式典 (実行委員会主催)
- 8.12 プール竣工 プール開き
- 21 仙北青少年水泳大会 女子総合優勝

- 平成 元. 2. 6 花壇造成工事完了 (7基)

- 2.10.31 宮城県社会福祉協議会より表彰
- 11.28 県教委指定金成中学校区在学青少年モデル地区公開実践発表会を開催

- 3. 2. 5 自主公開実践発表会開催「豊かな表現力を高める指導」
- 4.16 文部省より「体力づくり推進校」の指定を受ける (平成3～5年)
- 8. 2 郡小学校水泳大会 男子総合、女子総合、男女総合優勝
- 25 仙北青少年水泳大会 男子総合2位

- 11. 1 ソニー教育資金 優良校に選ばれる
- 4. 8. 4 郡小学校水泳大会 男子優勝、男女総合優勝
- 23 仙北青少年水泳大会 男子総合2位

- 11.21 学校花壇コンクール入選
- 5. 7.11 第9回全国小学生陸上競技宮城県大会 女子400MR第4位入賞
- 30 郡小学校水泳大会 男子優勝、女子優勝 男女総合優勝
- 8.22 仙北青少年水泳大会 男子総合2位、女子総合優勝
- 10. 6 郡小学校陸上競技大会 女子総合2位
- 27 平成3・4・5年度文部省指定「体力づくり推進校」公開研究会



津久毛杉橋鉄橋工事 (大正11年)



津久毛尋常高等小学校 (昭和4年)



木造校舎 (昭和40年代)



年月日	沿革の概要
平成 6. 7. 29	郡小学校水泳大会 男女総合4位、男子2位
8. 21	仙北青少年水泳大会 男子優勝、女子2位
10. 20	学校保健体育優良校表彰受賞
7. 7. 27	郡小学校水泳大会 男子優勝、女子優勝 男女総合優勝
8. 20	仙北青少年水泳大会 男子優勝 女子優勝
9. 27	郡小学校陸上競技大会 女子総合3位
11. 13	宮城県健康教育推進校表彰受賞 (県教委)
8. 3. 31	学童水泳優秀校として日本水泳連盟より表彰
8. 25	仙北青少年水泳大会 女子総合優勝
11. 3	宮城県代表健康推進学校として朝日新聞社より表彰
9. 4. 1	宮城県社会福祉協議会より「ボランティア活動普及事業協力校」の指定 (平成9～11年度)
8. 24	仙北青少年水泳大会 男女総合優勝
10. 8. 23	仙北青少年水泳大会 男子総合2位 女子総合優勝
11. 18	優良PTA文部大臣表彰受賞
11. 8. 23	仙北青少年水泳大会 男子総合2位 女子総合2位
9. 4	宮城県学校歯科医師会より表彰
12. 2. 10	宮城県教育委員会指定 心をはぐくむ教育活動推進校「実践発表会」
4. 1	在籍児童 (男39名、女37名、計76名)
8. 20	仙北青少年水泳大会 男子総合2位 女子総合2位
9. 2	宮城県学校歯科医師会より表彰「10年連続」
13. 4. 1	在籍児童 (男37名、女34名、計71名)
8. 19	仙北青少年水泳大会 男女総合優勝
9. 1	宮城県学校歯科医師会より表彰
14. 4. 1	在籍児童 (男34名、女33名、計67名)
8. 21	給食用配膳室完成
27	学校給食開始
9. 7	宮城県学校歯科医師会より表彰 (12年連続)
15. 4. 1	在籍児童 (男28名、女34名、計62名)
8. 24	仙北青少年水泳大会 男子総合優勝 女子総合2位
25	トイレ水洗化開始及びプール塗装工事
9. 7	宮城県学校歯科医師会より表彰 (13年連続)
25	郡陸上競技大会 男子400mリレー優勝
16. 2. 23	第5回白鳥省吾賞・学校奨励賞受賞 (小中学生の部)
4. 1	在籍児童 (男25名、女35名、計60名)
8. 22	仙北水泳青少年水泳大会 男子総合2位 女子総合2位
9. 1	宮城県学校歯科医師会より表彰 (14年連続)
17. 2. 27	第6回白鳥省吾賞受賞 (小中学生の部) 最優秀賞・特別賞・奨励賞受賞
4. 1	町村合併により栗原市立津久毛小学校と改称 在籍児童 (男23名、女32名、計55名) 青少年赤十字研究協力校指定 (2年)
8. 21	仙北水泳青少年水泳大会 男子総合2位 女子総合1位
11. 22	学校花壇コンクール入選、鈴木長治賞、環境奨励賞受賞
18. 2. 26	第7回白鳥省吾賞受賞 (小学生の部) 優秀賞受賞
4. 1	在籍児童 (男25名、女24名、計49名) 金成地区豊かな体験活動地域推進校 文部科学省指定 (2年)
8. 20	仙北水泳青少年水泳大会 男子総合優勝 女子総合優勝
10. 28	公開研究会 (青少年赤十字研究協力校指定 H17～18)
19. 2. 25	第8回白鳥省吾賞受賞 (小中学生の部) 最優秀賞・優秀賞・特別賞・奨励賞受賞



給食開始日 (平成14年度)

仙北水泳青少年水泳大会  
男子総合優勝 女子総合優勝 (平成18年度)



年月日

沿革の概要

- 平成 19. 4. 1 在籍児童（男 25名、女 22名、計 47名）
- 11. 28 栗原市社会福祉協議会より表彰
- 20. 4. 1 在籍児童（男 30名、女 17名、計 47名）
- 21. 2. 22 第10回白鳥省吾賞受賞（小中学生の部）最優秀賞受賞
- 4. 1 在籍児童（男 31名、女 16名、計 47名）
- 9. 1 宮城県学校歯科医師会より表彰（19年連続）
- 22. 2. 1 第11回白鳥省吾賞受賞（小中学生の部）優秀賞受賞
- 4. 1 在籍児童（男 25名、女 13名、計 38名）
- 10. 9 宮城県学校歯科医師会より「健康な口腔とよい歯」の学校表彰（20年連続）を受ける
- 23. 4. 1 在籍児童（男 24名、女 10名、計 34名）  
県学力向上サポートプログラム事業指定（国語）
- 7. 3 第27回全国小学生陸上競技大会宮城県最終選考会 走幅跳び5位  
22 第38回金成地区小学校水泳大会 25mバタフライ第1位（大会新）
- 24. 4. 1 在籍児童（男 27名、女 15名、計 42名）  
市陸上競技大会（平成23年度）
- 11. 23 みやぎっ子ルルブル推進優良団体表彰
- 25. 4. 1 在籍児童（男 26名、女 14名、計 40名）
- 26. 3. 学校再編により閉校



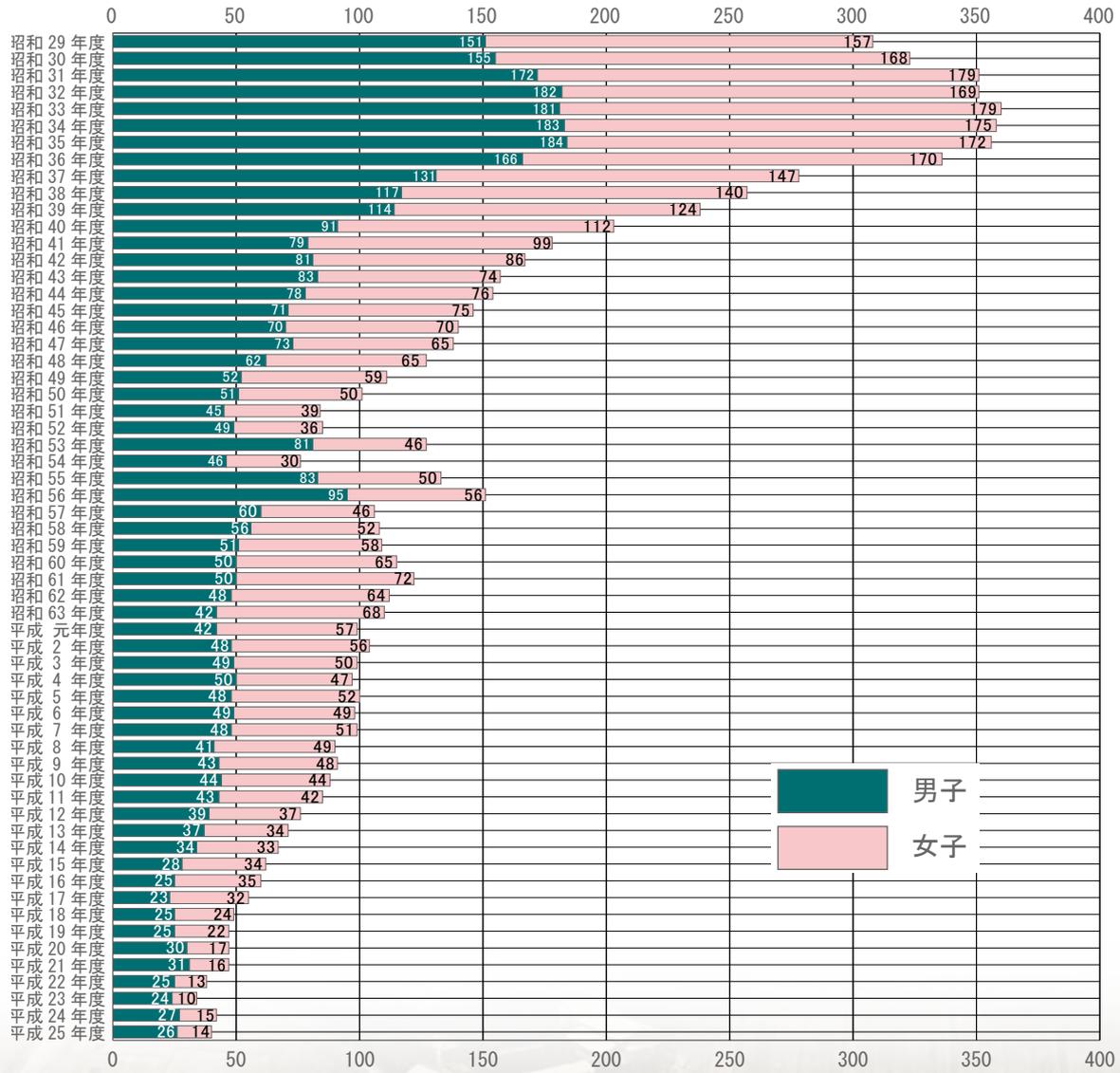
（20年連続）を受ける  
走幅跳び5位  
（大会新）  
市陸上競技大会（平成23年度）



学校から望む栗駒山



児童数の推移



目





# 歴代校長

初代	菅原善兵衛	校長	明治22年5月～大正3年2月16日
第2代	及川健三郎	校長	大正3年3月11日～大正10年4月25日
第3代	鈴木盛	校長	大正10年4月25日～大正11年8月31日
第4代	細川毅	校長	大正11年9月1日～昭和5年3月31日
第5代	菅原泰頭	校長	昭和5年3月31日～昭和11年8月30日
第6代	白鳥武夫	校長	昭和11年8月31日～昭和14年8月31日
第7代	水沼彌四郎	校長	昭和14年8月31日～昭和17年3月31日
第8代	日下忠平	校長	昭和17年3月31日～昭和20年3月31日
第9代	千葉謙助	校長	昭和20年3月31日～昭和21年3月31日
第10代	佐藤覚弥	校長	昭和21年3月31日～昭和22年3月31日
第11代	千葉英夫	校長	昭和22年3月31日～昭和23年3月31日
第12代	宍戸武一	校長	昭和23年3月31日～昭和24年3月31日
第13代	千葉憲司	校長	昭和24年度～昭和27年度（吉雄：昭和26年改名）
第14代	狩野養三郎	校長	昭和28年度～昭和30年度
第15代	小野寺克巳	校長	昭和31年度～昭和36年度
第16代	菅原敬寿	校長	昭和37年度
第17代	高橋喜助	校長	昭和38年4月1日～昭和38年12月3日
第18代	遊佐季夫	校長	昭和39年1月1日～昭和39年3月31日
第19代	浅田義邦	校長	昭和39年度～昭和43年度
第20代	佐々木栄一	校長	昭和44年度～昭和46年度
第21代	菅原義孝	校長	昭和47年度～昭和49年度
第22代	小野寺巧	校長	昭和50年度～昭和52年度
第23代	佐藤孝志	校長	昭和53年度～昭和54年度
第24代	三塚庸夫	校長	昭和55年度～昭和59年度
第25代	佐藤司	校長	昭和60年度～昭和61年度
第26代	松田宗昭	校長	昭和62年度～昭和63年度
第27代	千葉介	校長	平成元年度～平成2年度
第28代	遠藤有	校長	平成3年度～平成4年度
第29代	菅原邦子	校長	平成5年度～平成6年度
第30代	佐々木敏子	校長	平成7年度～平成9年度
第31代	佐藤澄之	校長	平成10年度～平成11年度
第32代	佐藤武久	校長	平成12年度～平成14年度
第33代	木村尚	校長	平成15年度～平成16年度
第34代	曾根睦子	校長	平成17年度～平成18年度
第35代	高橋秀三	校長	平成19年度～平成20年度
第36代	齋藤久美子	校長	平成21年度～平成22年度
第37代	只野昌弘	校長	平成23年度～平成24年度
第38代	菅原太	校長	平成25年度



初代	近藤 平内	会長	昭和22年6月～昭和24年3月
第2代	近藤 次男	会長	昭和24年4月～昭和25年3月
第3代	林 寿	会長	昭和25年4月～昭和26年3月
第4代	近藤 次男	会長	昭和26年4月～昭和29年3月
第5代	三浦 金治	会長	昭和29年4月～昭和30年3月
第6代	相馬 伝	会長	昭和30年4月～昭和32年3月
第7代	菅原 盛次	会長	昭和32年4月～昭和34年3月
第8代	石川 義夫	会長	昭和34年4月～昭和40年3月
第9代	石川 文弥	会長	昭和40年4月～昭和45年3月
第10代	佐々木 宮雄	会長	昭和45年4月～昭和46年3月
第11代	渡邊 淳	会長	昭和46年4月～昭和47年3月
第12代	鈴木 健平	会長	昭和47年4月～昭和48年3月
第13代	小野寺 毅	会長	昭和48年4月～昭和51年3月
第14代	近藤 守雄	会長	昭和51年4月～昭和53年3月
第15代	鈴木 孝	会長	昭和53年4月～昭和54年3月
第16代	佐々木 庵	会長	昭和54年4月～昭和55年3月
第17代	澤邊 貞勝	会長	昭和55年4月～昭和57年3月
第18代	小田島 久男	会長	昭和57年4月～昭和59年3月
第19代	菅原 孝	会長	昭和59年4月～昭和61年3月
第20代	菅原 正雄	会長	昭和61年4月～昭和62年3月
第21代	岩渕 裕次	会長	昭和62年4月～平成3年3月
第22代	渡邊 誠悦	会長	平成3年4月～平成6年3月
第23代	高橋 宗男	会長	平成6年4月～平成9年3月
第24代	佐藤 薫	会長	平成9年4月～平成10年3月
第25代	高橋 榮一	会長	平成10年4月～平成12年3月
第26代	渡邊 正宣	会長	平成12年4月～平成14年3月
第27代	鈴木 義章	会長	平成14年4月～平成15年3月
第28代	小野寺 昭仁	会長	平成15年4月～平成18年3月
第29代	高橋 直記	会長	平成18年4月～平成20年3月
第30代	高橋 裕治	会長	平成20年4月～平成22年3月
第31代	千田 勇	会長	平成22年4月～平成25年3月
第32代	鈴木 成	会長	平成25年4月～平成26年3月



## 学校の概要

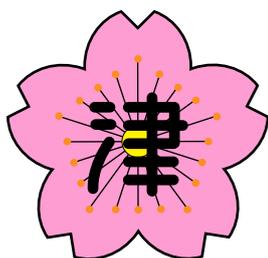
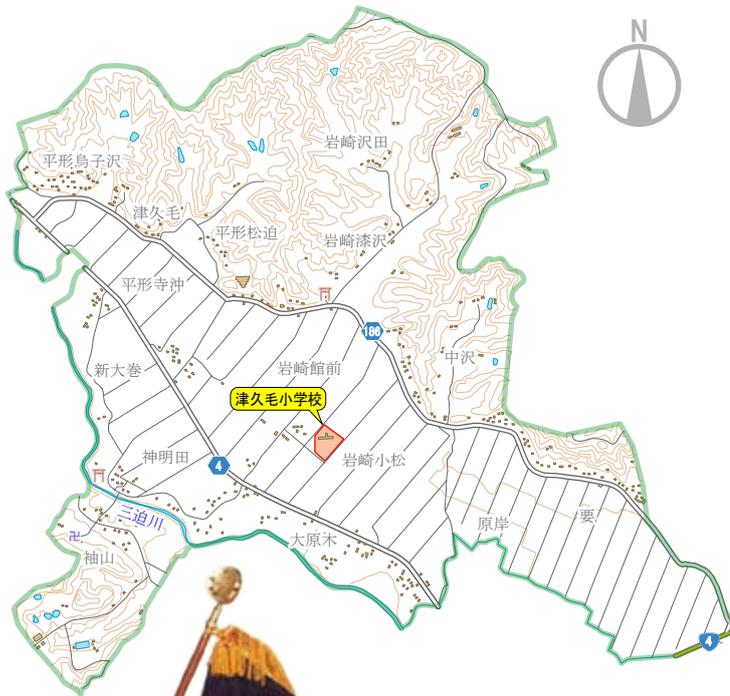
### 学区の概要

- 宮城県県の北部に位置し、平成19年3月31日まで「くりはら田園鉄道」が学区の中央を走っていた。国道4号線が南北に縦走し、平泉文化の影響を強く受けたところで、史跡が各所に点在して、歴史の香りがただよふ地域である。
- 名峰栗駒山を源流とする迫川は、有史以前より幾度となく氾濫を繰り返して肥沃な土砂を堆積させ金成耕土を形成し、宮城県北の穀倉地帯となっている。
- 津久毛小学校区は、戸数約319戸。近年、金成地区及び近隣の工場・事業所・店舗などで働く人々が増えている。従って、日中は祖父母と孫が留守を守り、日曜日に農作業を行うという第2種兼業農家・共働きの家庭がほとんどである。児童数は減少傾向にある。
- また、当学区はほぼ均等な戸数の5つの地区、小迫、岩崎、平形、上大原木、下大原木よりなり、勤勉誠実な地区民が培った強い連帯感は、いまもなお健在で好ましいコミュニティーを形成している。
- 5つの集落のほぼ中心に建てられた学校は、地区民の教育・文化・スポーツのセンターであり、地区民の「オアシス」的な役割を果たしている。



校章と校旗

### 学区略図





### 校舎のようす

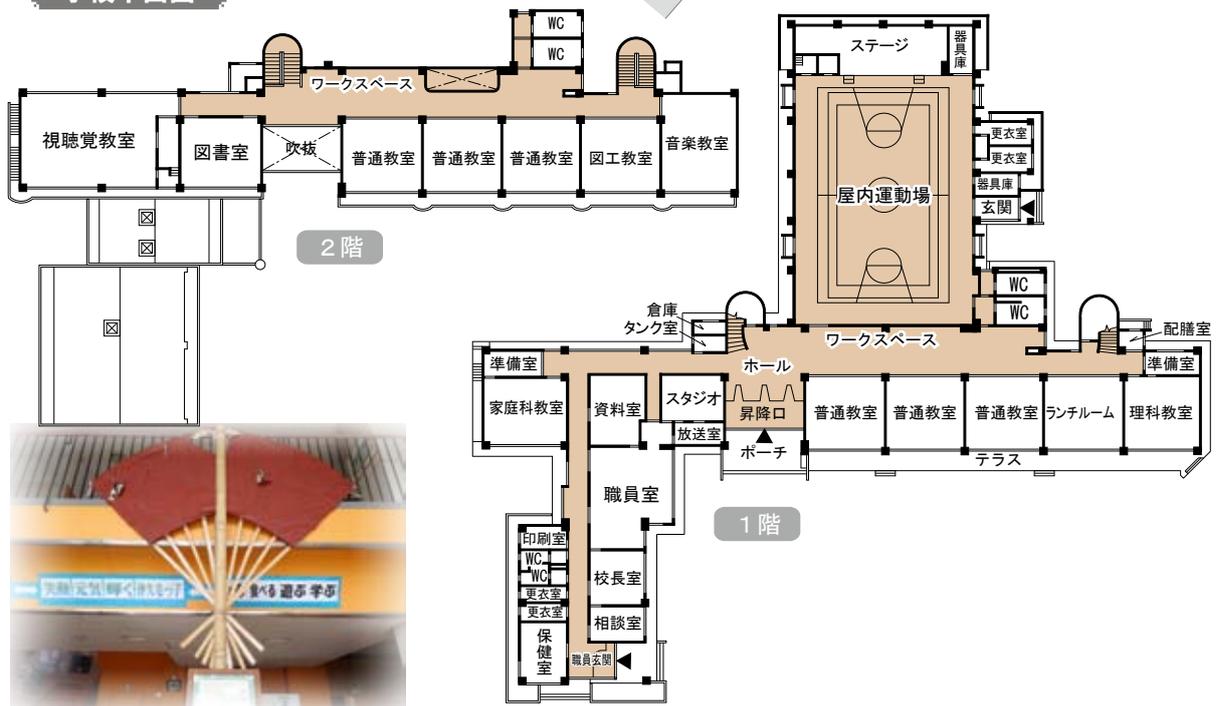
#### 校舎配置図



津久毛小学校新校舎落成記念  
「歩む子」像 昭和 63 年 6 月 12 日



#### 学校平面図



小迫祭り 扇の的



## 銃後の守り

昭和20年卒業 鈴木 健平

「空広くして野は清く 住むにうれしきわが津久毛…」詩情豊かな校歌を、ときには喜び、ときには涙を流して斉唱した小学校時代、卒業してからもう68年の歳月が流れた。

3年生の16年12月8日、太平洋戦争が勃発した。男子は20才になると制度により徴兵され、戦闘が拡大し兵力の増強で成年男子はもとより、一家の主らも招集された。銃後の守りと称して、家を守り農業などの仕事は婦人、年寄り、子ども等で頑張るしかなかった。4年生の頃、食糧増産のかけ声で開墾（大原木袖山）もした。校庭にはカボチャやさつまいもなどを植えた。5、6年になると、手間の足りない農家へ田植えや田の草とり、稲刈りなどの手伝いに繰り出された。女生徒の中には、幼い弟や妹をおんぶして（子守り）登校し、授業を受けていたことがしばしばあった。いまでは考えられない授業風景だった。学校側も地域と一体となって銃後の守りに懸命に取り組みされた。

招集の令状（通称赤紙）が届き、出征する日には校庭で壮行会が開かれた。武運長久のタスキを



大原木袖山村有地開墾

肩に掛け、りりしく立派な軍人姿である。村長さんや在郷軍人、婦人会、親戚など多くの人々の激励を受けた後、歓呼の声と日の丸に送られて津久毛停留所へと向かう。当時の停留所は葵工業事務所付近にあって線路は幅が狭く、蒸気機関車が小さな客車と貨車をひいていた。停留所は見送りの人々で溢れ、児童は線路脇で日の丸を振って見送った。出征兵士は汽車の窓から身を乗り出して日の丸を力いっぱい振り遠ざかって行く。こうして見送ったなかには、今生の別れとなった家族が多くいたと後日知らされた。

振り返ってみると、戦時体制のもと、学業よりも銃後を守ることであったが、子供の頃のこうした経験が、以後の人生に少なからず好影響を与えたことは確かである。

## 小学校・地区民合同運動会は尊い絆づくりの基だった

小田島 久男

旧くりはら田園鉄道を跨ぐ国道4号線の陸橋があるが、私はここからの津久毛小学校の眺望が好きです。春夏秋冬、四季の織りなす光景はさまざまですが、秋には、黄金色した稲穂が波打つその4キロ先に錆びついた2本のレールの根元に白亜に輝く新校舎に思い出があるし、又長い歴史を紡いだ木造建築だった旧校舎時代にも懐かしい。

小学校・地区民合同運動会では、選手選考のために集まって語り、応援席作りもした。応援の目的は絆づくりだった。時には、津久毛小学校が、金成小と沢辺小に分断される合併案が出た時は、地区として反対の意志表示をする仮装をした。横断幕を作り、シュプレヒコールを繰り返しながら会場を巡ったことは、岩崎だけの問題でなく、地域の一大事であることを津久毛地区民に喚起したし、行政にも届いたと自負し合った。

今は、金成地区5校統一の進捗を喜びたいと思います。

その他の学校行事では学芸会がある。生徒の演出だけでは演目数が足りなかったのでしょう。PTAも壇上でいろいろと演じた。岩崎では私も「大きなカブ」のおじいさん役をしたことを思い出す。学芸会と言うと、仙台圏の友人などは、子供の出演時間の限定と見学規制があったと言うが、駐車スペースや講堂の大きさなど、なにかにつけて好条件なことを自慢したものです。

安心隊活動では隊長を務めたが「自分たちの地区は自分たちで守る」をモットーに随時活動と常時活動を区別しながら、街頭立ち会いや巡回など、安心隊のユニホームを着用し、りりしくできた。



くりはら田園鉄道



生徒と地域の絆を深くすることを目標にしたが、事故がなく安全に過ごせたことに安堵感があるが、もう一步詰める必要があったと思う中での退任でもあった。

思い出と言うより願いとして、廃校後もこの津久毛小学校跡地が地域の絆づくりの中心であって欲しい。



旧校舎最後の地区民合同運動会

## 小学校と思い出

昭和37年卒業 菅原 正雄

稲刈りが始まってきましたが、子供達が植えた稲も黄金色に輝き、収穫するのみとなりました。

思い起こせば下の娘が6年生の時に、確か「全国学校健康推進コンクール」で入賞し東京の朝日新聞社本社で授賞式があり、娘と佐々木敏子校長先生と妻と私が出席し受賞してきました。その中で皇太子ご夫妻が子供達の輪の中に入り、労いの言葉をかけていただいた中で、雅子様が「どんな所にある学校ですか」と声をかけられ娘は「田んぼの中にある学校です」と答えたとのことで私達も大変嬉しく思いました。

帰りの新幹線の中で敏子校長先生より、田植えとか稲刈りだけでも良いので協力をお願いしたいとの話があり、翌年から田植えと稲刈りを一緒に始めました。最初はどうかと戸惑いもありましたが、先生方や御家庭の祖父母の皆様の協力のもとにどうにか行う事ができました。特に思い出として残っているのは、平成15年の大冷害の年に手伝いに来たおばあちゃんに、『チャクチャク』とした稲刈りは今年初めてだと言われた事。また、稲刈りを終えたその晩に竜巻により全部棒掛がなぎ倒されました。米と子牛の出荷で忙しくて手が回らなかった時に、先生と子供達が来て直して行かれたとの事を聞き大変嬉しく思ったものでした。又毎回想うのですが、朝、整列をして話をする時にどの子どもさん達も目がキラキラと輝き元気な声で話をされるのには大変嬉しく思ってきました。今年で最後の稲刈りは10月7日の予定です。



田植え（平成15年度）

今回は21年ぶりにササニシキを作付けしてみました。良いできですので収穫感謝祭が今から楽しみです。学校が無くなっても子供達と田植えや稲刈りをした事は生涯忘れられない事になりました。

皆様方のご協力に感謝を申し上げながら役目を終わらせていただきたいと思います。



最後の稲刈り（平成25年度）





### ありがとう津久毛小学校

昭和54年卒業 須藤 幸樹

閉校記念事業にあたり、閉校記念誌に思い出を残す機会を与えていただき、たいへん恐縮するとともに、深く感謝申し上げます。

私の学業の始まりは、津久毛小学校に隣接する地にあった幼稚園でした。ここを最後の卒園時となり閉園しました。木造の津久毛小学校に入学し、音楽室と理科室、図書室が、旧津久毛中学校の教室でした。私の一つ下の後輩の方が、幼稚園として音楽室を使用し、翌年金成幼稚園として、金成地区が一つとなったことを覚えております。

たくさんの思い出の中から、石炭をダルマストープにくべ、暖をとる教室と百メートル走に並ぶ廊下の雑巾がけが忘れられません。

勉強より大好きだった、小迫白山神社での野外活動がありました。一輪車にマキと鍋、そして、食材等を積み込み、木の根元をかまど風につくり、火をおこし、トン汁に近いものをつくり、おにぎりを食べたことは忘れません。楽しいことばかりではなく、二度の宮城県沖地震を経験したこと、木造校舎が大きく横に揺れ、倒れる恐怖もいまだ忘れることができません。更に、津久毛駅前では、電線が大縄跳びの縄のように、大きくしなり、泣き泣き帰ったことを覚えています。木造校舎は児童としてお世話になった学び舎となり、新校舎は親としてお世話になり、大人として成長することができた大切なところです。



小迫神社での野外活動(昭和48年度)

P T A活動を通し伝統を継承する難しさも学び、多くの方々と共に活動できたことが、いとおしくも、なつかしい生涯の思い出となります。ことに女子児童へのバスケットボールの指導に、長きに渡り携わることができたことも、家族で共有できるはかりしれない大きな財産となっております。

いつまでも、津久毛っ子魂を継承し歩んでいきたいと思えます。

心から、津久毛小学校ありがとう。



新校舎建設と旧校舎



## 思い出

昭和63年卒業 菅原 美枝

津久毛小学校での思い出といえば、木造校舎で過ごした日々が懐かしく思い出されます。私が卒業した昭和63年3月は、現在の校舎が完成した記念すべき年でありました。現在の校舎では、卒業までの2週間を過ごし、真新しい校舎から巣立つことができました。

6年間過ごした平屋建ての木造校舎は、風が吹けば戸がガタガタ、廊下を歩けばミシミシ、雑巾がけをすれば手にトゲがささり、冬には教室の真ん中に大きな煙突のついたストーブが置かれ、その上で牛乳を温めていました。古い建物ではありましたが、とても温かみのある優しい校舎でした。

木造校舎が取り壊される日、大きな重機でバリバリと砂埃を上げながら解体されていく校舎を見ているのは、子供ながらに辛く悲しかったことを覚えています。

私にとって津久毛小学校は、大切な仲間ができ、勉強だけではなく、地域の皆さんとのふれあいや、様々な経験を通し大きく成長することができた場所です。

現在、1番目の息子は卒業し中学2年生となり、2番目の息子が6年生、娘が4年生として津久毛小学校で楽しい学校生活を送っています。

「みんなが主役」の津久毛小学校で、一人一人が堂々とそれぞれの場面で活躍する姿を目にし、卒業生の一人、地域の一人としてうれしく思います。

これから、たくさんの子供たちが新しい学校で、様々な経験をし、心も体も大きく成長することをお祈りします。

また、これまで私たちを支えてくれた母校に感謝しながら、この良き津久毛小学校の伝統や思い出をいつまでも語り続けていきたいと思っています。



旧校舎解体（昭和62年度）

## 11年を振り返って

津久毛小学校教諭 白鳥 清文



手もみすり（平成15年度）

平成15年春に津久毛小学校に赴任しました。その頃は金成町でしたし、学校のすぐ脇を「くりでん」が走っていました。学校のトイレは汲み取り式でした。あれから11年。本当に長い間お世話になりました。私の教師人生の半分弱が津久毛小学校での勤務となります。私が担任した児童は、合計76名。その中には、結婚した子もいます。時が経つことの早さに驚くとともに、今は、私を温かく受け入れ、成長させてくれた子どもたちと保護者の皆様、地域の皆様。そして共に勤務した教職員の方々に対する感謝の気持ちでいっぱいです。

楽しいこと、うれしいこと、苦しいこと、悲しいこと、辛いこと、すべてがあった津久毛小での11年間。子どもたちと共にそれらを分かち合ってきたつもりです。そして、子どもたちから大切なことをたくさん教えてもらいました。純粋で、無邪気で、明るく素直な津久毛小の子どもたちが、私は大好きです。

ほとんどが1泊2日で行われる学年PTA行事。1年に3度実施された年もありました。こんな学校は、どこにもないと思います。とてもいい思い出をありがとうございました。

地域の皆様との思い出は、何といても運動会後に行われた地区慰労会です。たくさんの方々との親睦を深めることができました。この慰労会参加が毎年とても楽しみでした。

思い出多き、津久毛小学校が閉校することは、本当に残念でなりません。しかし、閉校まで勤務できたことをとてもうれしく、光栄に思っています。また、閉校記念誌に寄稿させていただく機会をいただいたことに感謝申し上げます。

津久毛小学校は閉校しますが、津久毛小学校での思い出は、宝物としていつまでも私の心の中に大切にしまっておきたいと思っています。これまで本当にありがとうございました。



津久毛小学校万歳

児童・保護者・先生・地域が一体となり教育活動をすすめるすばらしい学校でした。

教頭 今野 英俊



水泳大会や陸上大会、津久毛杯での応援、そして音楽祭での合唱・合奏は忘れられません。5年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

教諭 高橋 ゆうこ

本校には、7年間お世話になりました。素晴らしい子ども達と保護者の皆さんとともに過ごした日々は、私の宝です。長きに亘って地域と共に歩み、輝かしい伝統をつくってきた本校の閉校に立ち会えたことに感慨を覚えます。津久毛小で学んだ皆さんの幸多きことを心から祈念します。

教諭 佐々木 マチ

たくさんある学校の中で、2度も勤務できたことに縁を感じ、嬉しくもあります。

黙々と走る朝マラソン、元気なあいさつ、めあてに向かって頑張る津久毛っ子の楽しい5年間でした。

教諭 石川 恵久子

晴れの日も曇りの日も元気はつらつ

朝マラソンだ！

ぼくたち わたしたちのたのしみ

かけっこ 水泳だ！

今年も 鬼首で特訓だ スキー

そりっこすべり！

ぼくらの学校楽しいな

教諭 佐藤 良孝

大好きな津久毛小学校に閉校まで勤務することができ大変うれしく思っています。

金成小中学校に行っても無限の力を信じ、全力で頑張れ津久毛っ子！

教諭 白鳥 清文

明るく伸び伸びと元気に過ごす子どもたち、保護者の方と地区の方々のご協力のすばらしさと温かさを感じた2年間でした。

講師 伊藤 千尋

優しさのあふれる地域の方々に見守られ、四季折々の自然を肌で感じることでできる環境に恵まれているのは、栗原市内でも数少ない学校の一つではないかと思えます。

津久毛小学校最後の年にこの学校で働けることをとてもうれしく思っています。

講師 伊藤 由香

毎朝自分から進んでマラソンをする姿は本当にすばらしいです。これからもコツコツと努力する子どもたちであってほしいです。

養護教諭 佐藤富美子

「元気な子どもたち、熱心な保護者の皆様、学校に協力的な地域の方々」という津久毛小学校のすばらしい環境で仕事ができなかったことは、忘れられない思い出となりました。たくさんのお出合いに感謝しています。3年間ありがとうございました。

主査 那須野 沙知子

地域の皆様、先生方、大変お世話になりました。津久毛の子どもたちは、とても素直で、優しい子たちです。これからもこのままの子どもたちでいてほしいと思います。1年間でしたが、とても楽しかったです。

補助員 佐々木 有子



津久毛小学校が閉校することは、とても寂しく残念に思います。私は2年間、環境整備や学校行事の準備等、楽しく仕事をさせていただきました。様々な活動にも参加させていただき、思い出もたくさんできました。本当にありがとうございました。

業務員 小野 豊



# ありがとう！津久毛小学校

## 小学校の思い出・将来の夢

うんどうかしの、  
100mそうでーいにな  
れてうれしかったです。  
大きくなったらサッカー  
せんしゅになりたいです。

えんそくでうさぎさんを  
だっこしたらふあふあわで  
きもちよかったです。大き  
くなったら、きょうりゅうの  
けんきゅうかになりたいです。

プールおさめのビートば  
んきょうそうでーいにな  
てうれしかったです。大き  
くなったらやきゅうせん  
しゅになりたいです。

いっぺんぐるぐる  
まわしてつこのしか  
たで、あおき  
なったら、いっぺん  
せんしゅになりたいです。



# 第1学年



# ありがとう！津久毛小学校

## 小学校の思い出 将来の夢

競走いで「ころの中にきらめいてをうたつたことが思い出にのこりました。

ゆめは、おちえんの先生になることです。

水泳い大会で25mメートルおよいで「とてもうれしかったです。

ゆめは、サッカーせんしゅになることです。

思い出はふれ合いまつり「はり糸氏でたべものをつくらったことです。

ゆめは、ケーキ屋さんになることです。

水泳いで「ボートばんで25mおよいだことが思い出にのこりました。

ゆめは、マラソンせんしゅになることです。

冬山で「ソリ」のって「ころまんとすべ」たことが「楽しかったです。

ゆめは、ゲームやいになることです。

せおよぎで「25メートルおよいで」「1位をとったことが」思い出にのこりました。

ゆめは、ケーキさんになることです。

ふれ合いまつり「かんぽうくりであるいたことが」思い出にのこりました。

ゆめは、タクシーのうんてんしゅになることです。

冬山たいけんで、ソリをした時、ジャンプができたのが思い出になりました。

ゆめは、やくざいしになることです。

いぎゅうそう大会で「1位をとったことが」思い出にのこりました。

ゆめは、きゅうのしんぱんになることです。

ふれ合いまつり「おはあちゃんとおりが」みをしたことが「思い出にのこりました。

ゆめは、パンやさんになることです。



# 第2学年



# ありがとう！津久毛小学校

## 小学校の思い出 将来の夢

3年の時、習字で部長賞をとったことです。夢は、やさしい保育士になりたいです。

1年生の時に運動会の100mでゴール前で転んだことです。津久毛小学校にいるやさしい先生になりたいです。

水泳でバタフライができるようになったことです。ラーメン屋になってみんなに喜んでもらいたいです。

1年の時に糸会でしょうじょうをとったことです。夢は、自衛隊の人になりたいです。

水泳記録会で新記録が出たことです。野球のせん手か水泳のせん手になりたいです。

クロールで300m以上泳げるようになりました。しょう来の夢は、大工になることです。

水泳記録会で80mもあよいだことです。しょうらいのゆめは、やきゅうのせん手になることです。



# 第3・4学年





# ありがとう！津久毛小学校

## 小学校の思い出 将来の夢

ぼくは5年生でいった学年行事がババにのこっています。なぜかと  
いうと水ぞく食官について白くまを  
見たからです。将来の夢はカカ  
ー選手になることです。今  
からたくさん練習したいです。

ぼくの小学校の思い出はおか  
はのぼうけんです。王様で楽しく遊  
べました。  
ぼくの将来の夢は会社に勤加  
ることです。ちゃんとして、お金を  
たくさんかせぎたいです。

ぼくの小学校での思い出は  
花山合宿です。沢遊びが楽し  
かったです。将来の夢は、サッカー  
選手になることです。

私の思い出は花山合宿の  
沢遊びです。深い戸もあつて  
とても楽しかったです。  
将来の夢は花屋さんにな  
りたいです。

私の思い出は、花山合宿の野外  
炊飯です。カレーをほめた。  
おいしくできました。いい思い出  
になりました。将来の夢は、一流  
の美容士になりたいです。

ぼくは、わか葉のぼうけんが楽し  
かったです。それは、いろんなケージをク  
リアするのがおもしろいからです。  
ぼくは、しょうがい学校の先生にな  
りたいです。それは子ども達と今  
ある遊びをみんなでやりたい  
からです。

わたしの思い出は、花山合宿で  
したメッキ板作りです。いい思い出  
になりました。  
わたしの夢は、パティシエになること  
です。だから英語の勉強をがんばり  
たいです。

ぼくが楽しかったのは、花山学習と冬山体  
験学習と、わかばのぼうけんと水泳で  
2位になれたことと、夏休みといふれ  
あい祭りです。  
将来の夢は、サッカー選手になること  
です。



# 第5学年



# ありがとう！津久毛小学校

## 小学校の思い出 将来の夢

修学旅行で五色沼を見たり、ゆでた  
いや」でご飯を食べたことが楽しかったです。  
夢は水泳選手になることです。

僕は、修学旅行が楽しかったです。  
他の学校の人とも仲良くできました。  
将来の夢は、お父さんの働いている  
会社に入ることです。

秋の陸上大会の100m走でベストタイムを  
出し、8位をとったことが思い出に残って  
います。将来は、保育士になって小さ  
い子に優しくしてあげたいです。

ほくの思い出は修学旅行で鶴ヶ城の天守閣  
にのぼったことです。将来の夢は絵を勉強してマ  
ンガ家になることです。

ぼくがうれしかったことは校内持久走大会で  
自己新の5分台で走れたことです。  
将来の夢はサッカー選手になることです。

ぼくの思い出は、金成地区の小学校  
で行った修学旅行で赤べこを作った  
ことです。将来の夢は野球選手です。

修学旅行で雀鳥ヶ成に登ったことが  
楽しかったです。天守閣からのながめは、とてもよか  
かったです。夢は農業を勉強することです。牛馬の  
ことを詳しく知りたいです。

市の陸上交流大会で大会新を  
出して1位になって県大会で4位におた  
ことです。将来の夢は野球選手です。

ぼくは、水泳大会で背泳ぎで3位  
になって賞状をもらったことが  
思い出です。将来は、警察官に  
なりたいです。

私の一番の思い出は、修学旅行で  
会津若松に行き野口英世のことを勉  
強したことです。将来は美容師になつ  
みんなのかみをセットしてきれいにしておきたいです。

6年生の思い出は、修学旅行での白石山  
修学です。友達といっしょに行き動いたし、ご飯  
を食べたことが楽しかったです。今の将来  
の夢は、農業をする人になることです。



# 第6学年



奉安殿落成 (昭和7年)

新築記念 (昭和2年)

津久毛尋常高等小学校 (昭和4年)



屋内運動場建設  
(昭和28年度)



津久毛中学校北部ソフトボール大会優勝 (昭和29年)



津久毛岩崎地区 (昭和30年代)



小迫祭り (昭和30年)



小迫祭り (昭和30年)



プール落成 (昭和45年度)



プール落成 (昭和45年度)



秋の大運動会 (昭和50年度)



秋の大運動会 (昭和50年度)



交通教室 (昭和50年度)



交通教室 (昭和50年度)





入学式 (昭和56年度)



ジャガイモ植え付け (昭和56年度)



クリスマス会 (昭和57年度)



授業の様子 (昭和57年度)



野球クラブ (昭和57年度)



一年生を迎える会 (昭和57年度)



授業の様子 (昭和57年度)





祖父母学級（昭和60年度）



学芸会（昭和61年度）



卒業式（昭和61年度）



廃品回収（昭和61年度）





地区民合同運動会 (平成2年度)



4年授業の様子 (平成12年度)



1・2年遠足 (平成12年度)



2年乗り物学習 (平成12年度)



縄ない (平成12年度)



5年陶芸教室 (平成12年度)



道路に花いっぱい大作戦 (平成12年度)



ザリガニ (平成12年度)



こいのぼり (平成13年度)



交通教室 (平成13年度)



校外学習 (平成13年度)



田植え (平成13年度)



稲の観察 (平成13年度)



稲刈り (平成13年度)



生き物探検 (平成14年度)



小迫探検隊 (平成14年度)



プール開き (平成14年度)



修学旅行 (平成14年度)



クリーンセンター見学 (平成15年度)



ふるさとの川の探検 (平成15年度)



プール清掃 (平成15年度)



縦割り (平成15年度)



ホテル鑑賞会 (平成15年度)



芋ほり (平成15年度)





思い出のアルバム



お花見給食 (平成16年度)



ハウス見学 (平成16年度)



遠足 (平成16年度)



松島合宿 (平成16年度)



川探検 (平成16年度)



春を探そう (平成17年度)



社会探検 (平成17年度)



奉仕作業 (平成17年度)





脱穀 (平成17年度)



看板づくり (平成17年度)



図工造形遊び (平成18年度)



運動会 (平成18年度)



縦割り旗作り (平成18年度)



地域めぐり (平成18年度)



野外クラブ (平成18年度)



学校に泊まろう (平成18年度)



運動会 (平成19年度)  
運動会 (平成19年度)



修学旅行 (平成19年度)



そとへ行こうよ (平成19年度)



津久毛ソーラン2007 練習 (平成19年度)



緑の募金活動 (平成19年度)



学年PTA (平成19年度)



雪上カルタとり大会 (平成19年度)



六年生に感謝する会 (平成19年度)



授業の様子 (平成20年度)



津久毛地区めぐり (平成20年度)



入学式 (平成20年度)



パケツ田植え (平成20年度)



サツマイモ植え (平成20年度)



ホタルを見る会 (平成20年度)



クリーン作戦 (平成20年度)



リンゴ狩り (平成20年度)





1・2年遠足 (平成21年度)



花いっぱい運動 (平成21年度)



学習参観 (平成21年度)



修学旅行 (平成21年度)



PTAバレー (平成21年度)



自転車教室 (平成21年度)



津久毛夏祭り (平成21年度)



敬老会 (平成21年度)





ひろげてひろげて、ちぎってちぎって (平成22年度)



アサガオ種まき (平成22年度)



遠足 (平成22年度)



ミロトマトの観察 (平成22年度)



津久毛祭り (平成22年度)



奉仕作業 (平成22年度)



リンゴ狩り (平成22年度)



カルタ取り大会 (平成22年度)



田植え (平成23年度)



学年行事 (平成23年度)



へちま (平成23年度)



浄水場見学 (平成23年度)



着衣水泳 (平成23年度)



校外学習 (平成23年度)



栗原市小中学校音楽祭 (平成23年度)



祖父母ふれあい祭り (平成23年度)





交通安全教室 (平成24年度)



縦割り班顔合わせ (平成24年度)



こいのぼり (平成24年度)



調理実習 (平成24年度)



運動会 (平成24年度)



わかばのぼうけん (平成24年度)



花山合宿 (平成24年度)



学習発表会 (平成24年度)



スーパーマーケット見学 (平成25年度)



花山合宿 (平成25年度)



栗原市陸上大会 (平成25年度)



稲刈り (平成25年度)



### 栗原市立津久毛小学校閉校記念誌

発刊 平成26年3月  
発行 栗原市教育委員会  
企画・編集 栗原市立津久毛小学校閉校記念事業実行委員会



